

暮らし安心 共創予算 対話と共創による もっとやさしいまちづくりで



2026年度の予算が決まりました。今号では、予算の概要や主な取り組みを紹介します。

お問い合わせ/企画・調整課 (TEL)918-5010 (FAX)918-5101

2026年度予算における3つの視点

- 1 新たな価値を創造する**
対話と共創のまちづくり
新たに立ち上がった「あかし共創プラットフォーム」を通じて、さまざまな課題を深掘りし、より良い解決策や新たな価値を創造する具体的な取り組みにつなげていきます。
- 2 前に進める**
インフラ整備と地域の魅力創造
市民生活の基盤である「インフラ整備」について、老朽化対策を含め、施設のあり方を十分に議論し、方向性を示します。また「地域の魅力創造」に取り組むことで、にぎわいのあるまちづくりを進めます。
- 3 市民生活を守る**
物価高騰対策
物価高騰に直面している市民生活を守るとともに、事業者の地域経済活動を支えるため、全市をあげてスピード感を持って取り組んでいきます(1面)。



子ども・若者の育ちを まちのみんなで支える

小学校給食の完全無償化、有機・地産地消の推進

中学校給食無償化に続き、小学校給食の完全無償化と食育の推進を実施します。 **10億4250万円**

全小学校体育館への空調整備

熱中症対策効果が高く、環境にもやさしい設備を導入し、教育環境の向上と避難所機能の強化を図ります。 **10億800万円** ※令和7・8年度総額



不登校児童生徒への支援

全小中学校にフリースペースを開設 居場所サポーターを配置し、学習や生活を支援します。 **1億8400万円**

子育てまるとサポート+

妊娠前から子育てまで切れ目ない支援を実施します。 **2585万円**

- 不妊治療助成 一般・特定不妊治療にかかる費用の一部を助成 (年齢・回数制限なし)
- 初回の産科受診費用の助成 低所得世帯妊婦の妊娠判定受診料を助成
- 多胎児家庭への支援の充実 妊婦健康診査費用の追加助成、産後ケア(訪問型)やヘルパーによる支援などを充実



子ども・若者支援の推進

子ども・若者会議の開催 市内の子ども・若者との対話を通じ「子ども・若者計画」の実現に向けて取り組みます。 **4400万円**

- あかしプレーパークの実施 大蔵海岸公園、明石公園などの拠点づくりを進め、人材育成に取り組めます。



豊かな自然と共生し 暮らしの質を高める

ゼロ・カーボンあかし(脱炭素)

4930万円

- あかし脱炭素経営パワーアップ制度 産官学のサポーターによる支援のほか、太陽光発電設備やLED照明などの脱炭素化設備を導入する事業者へ補助を行います。
- 家庭向け脱炭素化設備導入支援も継続



ゼロ・ウェイストあかし(ごみ減量・再資源化)

2900万円

- 単純指定ごみ袋の導入 サンプルの全戸配布や説明会を実施し、円滑な制度導入を進めます。



ネイチャーポジティブの実現

3600万円

- 「生物多様性あかし戦略2026」の取り組みを推進 生物多様性の保全・回復に向け、ネイチャーツアーの開催や環境学習の充実、人材育成に取り組めます。
- 大学と連携した里山保全の取り組みを推進
- 神戸市との連携協定に基づく取り組み
- 豊かな海づくりの推進



あかし農業未来プロジェクト

1600万円

- 環境に配慮した持続可能な農業を推進するため、大型機械・スマート農業の導入支援や緑肥の施用への支援などを実施

新ごみ処理施設の整備

10億円

- 令和13年度の供用開始に向け、旧施設の解体工事や新施設の実施設設計などを実施



暮らしに安心を生み出す



令和8年度 予算概要	
一般会計	1515億849万円
特別会計	716億774万円
企業会計	256億7926万円
※詳しくは市ホームページへ	
明石市	令和8年度当初予算

笑顔あふれる共生社会 インクルーシブな社会をつくる

障害のある人への支援の充実

1200万円
サービス事業所の検索などの機能をもった支援アプリ導入などにより情報提供を強化します。

認知症施策の推進

5700万円

- みまもりあいプロジェクトの実施 民間提案 ひとり歩きなどで行方不明になった高齢者の早期発見を目的に、緊急連絡ステッカー、検索配信アプリを導入

介護予防の強化

960万円

- 全世代向け健康づくり体操 誰もが取り組める体操を制作・普及し、日常的な健康づくりを促進します。
- 短期集中介護予防サービスの実施 身体機能などが低下した高齢者向けに、訪問と通所リハビリなどを組み合わせ、3か月の短期で生活機能の改善に取り組めます。



まちの魅力を高め 活力と交流を生み出す

観光振興・大蔵海岸の魅力向上

7150万円

- 大蔵海岸みらいプロジェクトの実施(魅力向上に向けた検討)
- 明石市観光振興基本構想の改定



天文科学館のリニューアル

1600万円
プラネタリウム全天周投影用映像の制作や時に関する展示の充実など、「時のまち明石」の魅力発信を強化。

まちづくりプロジェクト

27億3661万円

- 西明石駅南地区の整備や大久保駅周辺市有地の利活用に向けた取り組みを実施

市内中小企業への支援

575万円
中小企業や小規模事業者への支援

- チャレンジ・スタートアップ事業者支援補助 新商品や新サービスの販売のために必要な費用を補助
- 商店街若者・女性新規出店チャレンジ応援事業補助 商店街の空き店舗への出店・開業のために必要な費用を補助

対話と共創の推進

700万円

- あかし共創プラットフォーム市民提案助成金 産官学民で力を合わせて新たな価値を創りだす共創の取り組みを後押しします。



安全・安心を支える 生活基盤を強化する

防災・減災対策の強化

2759万円

- 多様な視点の避難所ニーズへの対応 高齢者・障害者・妊産婦・乳幼児などに必要となる備蓄物資を配備します。
- ハザードマップの改定および全戸配布
- 被災者支援システムの導入 地震や風水害などで被災した家屋の被害認定調査や罹災証明書発行を迅速に行います。



消防・救急体制の充実

320万円
救急隊増強やドローン導入を進めます。



都市基盤・公共施設整備

- 市役所新庁舎 **51億3233万円** 2028年度供用開始予定
- 消防署新中崎分署棟 **18億円** 2027年度供用開始予定
- 山手環状線(大窪工区) **4億8463万円** 2026年度開通

“もっと” やさしいまち明石へ

本年の予算は、スピード感をもって市民の暮らしを守り、明石の魅力創造のための施策などを盛り込んでいます。市民のみなさんとの対話によって明らかになったニーズや地域課題に対し、行政、市民、企業、大学、市民団体など多様なみなさんとの共創で取り組むため、市民提案助成金を新設するなどあかし共創プラットフォームも本格始動します。市民のみなさんとともに笑顔あふれるもっとやさしいまちづくりを進めていきます。

まるたに さとこ 明石市長 丸谷 聡子

誰もが安全で安心して暮らせるまちを

本市はSDGs未来安心都市・明石を掲げ、2030年のあるべき姿を「いつまでも すべての人に やさしいまち」と定め、多様化する市民ニーズの中、社会情勢を注視し、市民の皆さまに寄り添うまちづくりに努めています。二元代表制の一翼を担う市議会として、物価が高騰し、多額の財源を必要とする課題が山積する中でも、誰もが安全で安心して暮らせる持続可能なまちづくりを目指し、より良い市政運営に取り組んでまいります。

くにて ひろし 明石市議会議長 国出 拓志

